

【R 1 8】 会話形式ノベル（台本仕様）

『クラスの女子全員を敵に回した男子、
女教師と女子生徒12人に口臭責めをされる』

～台詞と心の声～

作：七条右京

【登場人物】

きただ はる と
・ 北田晴人：男子生徒

いしはら ななみ
・ 石原七海：女子生徒（クラス委員長）

いわもと えま
・ 岩本恵麻：担任の女教師

・ その他の女子生徒

高津、山家、立木、下山、船岡、宮川、田
丸、城田、古沢、三木、湯川

ちょっとした事がきっかけで、クラスの女子全員を敵に回してしまった男子生徒の北田晴人。

クラスの女子12人全員と担任の女教師は、なぜか晴人に口臭責めをする。

七海の息のニオイでなぜか勃ってしまう晴人。

それを見た女教師は、晴人を全裸にする。

○朝の教室

石原七海：

「北田君、今この瞬間、君は女子全員を敵に回したのよ」

「それがどう言う事になるか分かるわよね」

「私達女子12人と先生の息の二オイを嗅いで貰うからそのつもりでいなさい」

「あまりのクサさに失神しても知らないわよ」

「いい、覚悟は出来てるの？」

岩本恵麻：

恵麻は、昨日の夜遅くまで、友人達とお酒を飲んだ。

翌朝になっても、体内にはアルコールと食べたものが混ざったきつ〜いニオイがまだ残っている。

「それじゃあ、息のニオイを嗅ぎなさい」

「ぷはあ〜〜、ぷはあ〜〜〜」

「ぷはあ〜〜、ぷはあ〜〜〜」

晴人の鼻に口を近づけて、深く息を吐いた。

北田晴人・心の声：

『あっ、なんだこの強烈はニオイは』

『クッさ〜〜〜』

『超すっぱいニオイと、トブのニオイが混ざって』